

<取材のお願い>

2022年9月1日

東北大学経済学研究科

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

東北大学がトルコの研究者と「大気汚染の健康影響」について共同研究

～途上国を対象とした共同研究に国際的にも高い関心～

東北大学経済学研究科では、8月29日（月）～9月20日（火）、アンカラ社会科学大学（トルコ）から研究者1名を招き、トルコにおける大気汚染の健康への影響についての共同研究を開始します。トルコでは、近年、気候変動やPM2.5による大気汚染など様々な環境問題が社会に大きな影響を与えており、問題解決に向けての環境政策づくりが急務になっています。しかし、トルコでは、この分野の研究が十分に行われてきませんでした。

一方、東北大学では、途上国におけるPM2.5の幼児の健康への影響に関する研究を進めており、国際的に著名な学術誌にも論文を発表してきました。今回の共同研究は、3年前に東北大学で博士号を取得したアンカラ社会科学大学の教員が、本学の環境経済学分野の研究に着目したことから実現したものです。同分野の研究は先進国では多くの事例があるものの、途上国を対象にした研究は不十分なため、その社会的意義も大きく、国際的にも高い関心を集めています。今回来日する研究者は、今後も長期的に継続していく共同研究で中心的な役割を果たすこととなります。

今回の招へいは科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。同事業でトルコから研究者を招くのは今回が初めてとなります。トルコは、日本と同様に自然災害が多い国であるため、実施期間中、東北地方の被災地の視察も計画されており、将来的に、自然災害が社会に与える影響についても共同研究のテーマに発展する可能性があります。

つきましてはご多忙中とは存じますが、トルコの研究者との共同研究の様子や、東北大学の研究者との交流、被災地を視察する様子などを取材して頂きたくお願い申し上げます。なお取材ご希望の方はお手数ですが、担当者までご連絡頂ければ幸いです。

【実施内容】

9月2日～19日の間下記のような内容の活動を実施する予定にしています。

- PM2.5の健康影響に関する共同研究の打ち合わせ
- 東北大学経済学研究科博士課程学生とのワークショップ

- 東北大学国際災害科学研究所の見学
- 東北地方の被災地を視察

* 「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

東北大学大学院経済学研究科

研究室電話：

Eメール：

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ
JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

電話：

Eメール：

（担当：田中(禎)、太田)